

平成 29 年 5 月 11 日

各 位

会 社 名 東邦ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役会長 濱田 矩男
(コード番号 8129 東証第一部)
問合せ先 執行役員 経営企画本部 副本部長
兼 広報・IR 室長 河村 真
(電話 03-6838-2803)

平成 29 年 3 月期連結業績について

東邦ホールディングス株式会社は、本日、平成 29 年 3 月期決算を発表しましたのでお知らせします。

当連結会計年度における医療用医薬品市場は、平成 28 年 4 月の市場拡大再算定の特例を含む 7.8%の薬価基準の引き下げやジェネリック医薬品のさらなる使用を促進する診療報酬改定などの医療費抑制策が推進された影響と前期に急成長したC型肝炎治療薬市場の急速な縮小により、抗がん剤等新薬の寄与はあったものの、前年に比べて大幅なマイナス成長となりました。

このような状況のもと、当社グループは医薬品卸売と調剤薬局の二つの事業を核とする医療、健康、介護分野に携わる企業集団として、患者様や医療機関が抱える課題を解決するための様々な顧客支援システムの開発・提案に取り組み、地域包括ケアシステムへの貢献により、幅広い分野で存在価値を発揮する付加価値サービス型ビジネスモデルへの変革を推進いたしました。

平成 28 年 11 月に発足させた共創未来ファーマについては、12 月の薬価追補収載において 2 成分 3 品目を発売し、売上・利益ともに順調なスタートとなりました。顧客需要に的確に対応する製造販売一体型のビジネススキームを確立し、高品質・高付加価値なジェネリック医薬品を中心に医療用医薬品を安定的かつ合理的に提供することを目指してまいります。

当連結会計年度の医薬品卸売事業は、抗がん剤等の新薬や自動音声認識薬歴作成支援システム「ENIFvoice SP」、「初診受付サービス」の契約件数の拡大が業績に貢献し、他の顧客支援システムも安定的に寄与したことに加え、経費の削減を図ることが出来ましたが、C型肝炎治療薬の売上が大幅に減少したため、売上高は前期比 6.0%減、営業利益は前期比 48.8%減となりました。通期業績予想に対する達成率は、それぞれ 99.7%、109.4%となりました。

調剤薬局事業につきましては、平成 28 年 4 月の薬価改定と調剤報酬改定による影響を受け、売上高は前期比 4.2%減、通期業績予想に対する達成率は 99.8%となりました。営業利益については、売上総利益の減少に加え、販売費及び一般管理費が前期実績及び通期業績予想を上回ったため、前期比 57.4%減、通期業績予想に対する達成率は 95.7%となりました。

これらの結果、当連結会計年度の業績は下表の通りとなりました。

1. 平成 29 年 3 月期業績(連結)

単位：百万円（百万円未満切り捨て）

連結	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益
平成 29 年 3 月期	1,231,046	14,244	19,844	14,225
通期業績予想	1,235,000	13,500	18,900	12,400
通期業績予想比(%)	99.7	105.5	105.0	114.7
前期比(%)	94.1	49.8	57.5	65.3

2. 平成 30 年 3 月期業績予想(連結)

(%表示は、通期対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第 2 四半期 (累計)	573,000	△6.9	5,000	△34.6	7,200	△31.9	4,000	△41.9	58.18
通期	1,186,000	△3.7	14,300	0.4	18,700	△5.8	10,300	△27.6	149.81

以 上